



地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構

神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe.jcho.go.jp/>

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

百年に一度のパンデミックとされる新型コロナウイルスの感染が日本に及んではや1年になりました。第1波、第2波そして現在、第3波のさなかにあります。ご存知のとおり人の動きのグローバル化でウイルスは瞬く間に全世界に拡大し、人々の生活、経済を大きく変貌させました。医療への影響も甚大なものがあります。当院は、今回の新型コロナに対しては地域の公的基幹病院として神戸市の施策の下に外来および入院治療にあたっています。第1波の到来～緊急事態宣言時には、連日のように会議を重ね、一般・救急外来、入院病棟そして職員の行動にいたるまで入念な感染対策体制を敷き、現在に至っています。また、患者様にも入館時にアンケート、検温にご協力いただき、お手数をおかけしております。現在まで関連施設を含め院内感染・クラスターを生じずに来ておりますのも職員ならびに関係者の不断の努力とともに地域の皆様のご協力の賜物と感謝しております。



院長 松本 圭吾

現在、当院は新型コロナに対して厳格な感染対策を行いつつ一般診療を行っておりますが、病院本来の機能としては「地域医療支援病院」が基本的な立ち位置と考えております。第1波に続く緊急事態宣言下の4～5月に抑制された一般の救急診療、紹介・逆紹介に関する診療機能はほぼ回復してきております。

来年度に向けては、整形外科の拡充、消化器内科医師の欠員の補充も予定されており、当院の総合病院としての機能を充実してまいります。また、地域の医療・介護スタッフに対する情報提供・研修については、Webによるリモート会議システムも導入予定で、ポストコロナ、ウィズコロナ時代に即した情報発信・研修ができるように準備してゆく予定です。

“冬来たりなば春遠からじ”。何れの日にかコロナ感染は落ち着きます。

新年の干支は丑、当院は地域医療の核としてその日に向かって粘り強く役割を果たしてまいります。

本年も引き続きご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。



近隣医療機関のご紹介

しばがき皮膚科

〒651-1221 神戸市北区緑町7-2-3 MDビルII 4F
TEL 078-581-4147

診療科目：
皮膚科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	×	×	●	●	×
15:00~18:30	●	●	×	×	●	×	×

※営業時間の10分前に受付終了です。



柴垣 亮 先生



平成 16 年にお世話になりました旧社会保険神戸中央病院を退職し、平成 17 年 5 月から神鉄山の街駅前の医療ビル 4 階で皮膚科診療所を開設しております。地域にお住まいの方の皮膚科診療に少しでも寄与出来るように日々努力精進しております。しかし日々の診療の中で、開業医では対処が難しい検査、手術、入院が必要な患者様には神戸中央病院を紹介させて頂いております。特に神戸中央病院皮膚科の村西部長先生、安岡先生には的確な検査、手術、入院加療で大変お世話になっております。また総合内科の先生方にも内臓悪性腫瘍の検索および治療で誠にお世話になっております。神戸中央病院の先生方、スタッフの皆様いつもありがとうございます。コロナ禍の中、日々奮闘されている皆様方は北区医療従事者の誇りです(お仕事御多忙の中、お身体も御留意下さい)。これからも引き続き御指導賜りますようお願い申し上げます。

生方、スタッフの皆様いつもありがとうございます。コロナ禍の中、日々奮闘されている皆様方は北区医療従事者の誇りです(お仕事御多忙の中、お身体も御留意下さい)。これからも引き続き御指導賜りますようお願い申し上げます。

前回号で案内いたしました「こさが家庭医療クリニック」の今藤医師の漢字に間違いがありました。ご迷惑をおかけいたしました。

年男 ご紹介



大友 敏行：循環器内科

還暦を過ぎて一度は生まれたての赤ん坊に戻ったはずなのですが、お陰様でもう一度年男が廻ってきました。抱負などおこがましいものではありませんが、これからも最善を尽くして出会った方々に納得していただける医療・介護を提供していきたいと願っています。



佐本 崇：婦人科(健康管理センター)

新年明けましておめでとうございます。今年、還暦を迎えることになりました私は、昭和の末に医師となり30余年、その大半を費やしてきたつむりの周産期診療に区切りをつけ、昨年より健診業務に従事させて頂いております。未だ慣れず戸惑うこともありますが、今後とも宜しく御願い致します。

新任医師 紹介



かわもり まさこ
河盛 真子：内科

10月から勤務させて頂いております。ブランクもあり、皆様に助けていただきながらですが、少しでもお役に立てるように頑張ります。

3テスラMRI 装置 (Ingenia 3.0T)のご案内

放射線科部長 岡本 将裕



当院では、昨年よりフィリップス社製の3テスラMRI装置(Ingenia3.0T)を稼働しております。本装置は3テスラの高磁場のもとで撮影することで、より高解像度の画像を描出することが可能です。特に3D血管撮像にて威力を発揮し、造影剤を用いることなく(注射の苦痛やリスクなく)、頭部や体幹部および下肢の領域で診断能の高い動脈の3D画像を提供することができ、動脈硬化による動脈狭窄や動脈瘤の有無の評価に役立っています。

動脈硬化は全身の動脈でおこりえますが、下肢動脈の病変はその程度を鋭敏に症状に反映するとされています。下肢動脈の動脈硬化による狭窄に伴う症状は、初期には足のしびれ感や冷感および間欠性跛行(歩くとしびれが出現し、しばらく休むと治まる。)として出現します。それらの症状が見られた場合には、まずは血液検査や上肢と下肢の血圧を測定しその比を調べるABPI検査などが行われます。これらの検査で異常値が見られた場合には下肢動脈に狭窄が存在する可能性が高く、精密検査としてCTやMRIを用いた下肢動脈撮影が行われますが、3テスラMRI装置を用いることで従来の造影剤を使用したCTやMRI検査に匹敵する画像を、造影剤を用いることなく提供することができます。特に動脈硬化が進みやすい高血圧や脂質代謝異常・糖代謝異常で治療中の方や透析治療を受けておられる方の動脈の状態を経時的に繰り返し評価する場合に、放射線被曝の影響を受けることなく、また腎機能への負担の少ない非造影検査が可能な点で非常に有用です。

本装置は検査環境も改善しています。検査スペースの直径が70cmと従来の装置より10cmほど拡大しているため、MRI検査が敬遠される要因であった圧迫感を軽減しています。また、お好みの映像を楽しみながら検査を受けていただくこともでき、今までMRI検査が苦手であった方、閉所恐怖症の方にも安心して検査を受けていただけるようになっております。

下肢動脈に狭窄が見られる方の背後には、全身の動脈硬化の進行が潜んでいます。動脈硬化による動脈狭窄が脳や心臓の動脈で進行すると、命にかかわる脳卒中や心筋梗塞を引き起こします。下肢を含めた動脈の状態が気になる方には、ぜひ担当医やかかりつけの先生にご相談の上で、3テスラMRI装置をご利用いただければ幸いです。

MR Angio 画像





当院における腎疾患治療について

腎疾患の原因は自己免疫性疾患である腎炎と生活習慣病から進展してくる糖尿病性腎臓病に大きく分けられます。しかし、実臨床で両者を区別することは難しく、腎生検が必要になってきます。最近ではエコーガイド下で安全に腎生検ができるようになり、免疫抑制薬も発達してきて、腎炎による透析導入は減少傾向となっています。神戸市北区で腎生検ができる施設は当院だけであることから、今年度からは積極的に腎生検を行い、治療可能な腎炎を早期発見する方針へと転換しましたので、些細な検尿異常でも当科へ紹介して頂きたいと存じます。

一方、糖尿病性腎臓病による透析導入は増加の一途を辿り、患者個人の負担だけでなく、国民医療費への影響も増大しており、財政を窮迫しております。慢性腎臓病は尿をこし出す糸球体という部位への圧が増大することで進行していきますが、その糸球体内圧を増大させてしまう主因こそが塩分の過剰摂取になります。慢性腎臓病の患者様は塩分に対する味覚が低下しており、醤油や塩を必要以上に摂取してしまい、さらに塩分に対する味覚が低下することが分かってきています。当科では1週間の教育入院で味覚の改善を図り、看護師と栄養士、医師、患者様で日々の生活での減塩のやり方を相談し、試験外泊後に塩分摂取量を計算してフィードバックしております。今年度からはCKD教育入院のプログラムも変更しており、是非ご紹介のほどお願いしたく存じます。

また、残念ながら患者様が腎不全へと至り、透析が必要な状態になっても、より体にやさしい腹膜透析を当科では勧めることにし、腹膜透析カテーテル留置術を執刀することになりました。

また、内シャント作成術も積極的に当科で執刀するようにしております。

今後は地域の先生方と連携させて頂き、神戸市北区の腎臓病患者様の進行を少しでも遅らせることができるように邁進していきたいと思っております。また、神戸市北区の患者様が安全に暮らせるように精一杯頑張らせて頂きますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。

	水曜 入院	木曜	金曜	土曜 外泊	日曜 外泊	月曜	火曜 退院
イベント	味覚 検査	PD 見学	HD 見学			CKD講義(亀崎) 味覚検査	
看護師	生活状況の把握		減塩方法 を提示			減塩 チェック (蓄尿)	
検査	蓄尿検査 24h血圧計	ABI	腎エコー			蓄尿検査	

